

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス サボ・ゼミ

支援プログラム (児童発達支援)

作成日 2025年 4月 1日

法人(事業所)理念		みんなちがってみんないい					
支援方針		個別支援を主とした児童へのかわりを通して、児童の総合的な発達を支援する。5領域を多職種で支援。職種によって、支援を変えて、5領域をバランスよく支援する。また、児童との信頼関係を培い、児童の置かれた環境に合わせたコミュニケーション方法を見つける。児童に実践してもらい、その後のコミュニケーションでの困難さを軽減を図る。					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	◎健康な心と生活のスキルの獲得 あいさつ「こんにちは!!」をして通所する。 1、靴・上着を脱ぐ・しまうの習慣化。身辺整理【ランドセル・靴の中の整理・遊び後(道具)の片付け】を支援する。 2、石鹸で手を洗う・拭くの習慣化なせ手を洗うのかを伝える。(衛生面の意識を向上する。) 3、個室を選ぶ。(自分で選択できる) 4、スケジュールを立てる(見通しをもって活動する。) 5、活動の終わりを明確化、気持ちの切り替えしやすいうように支援する。(タイマーの活用・スケジュールを終わったものから消す)					
	運動・感覚	◎感覚面の受け取り方の偏り(感覚調整障がい) ・運動面の不器用さへの困り感を抱えやすい。(発達性協調運動障がい)へのアプローチ 1、【感覚面でのアプローチ】 ・心理士によるアプローチ。絵本の読み聞かせやSSTを行う中で、児童が気持ちを言いやすいように支援する。音・感覚過敏への配慮・言語化(耳が痛い)などの表出出来るよう支援。 2、【運動面での不器用さへのアプローチ】 ・姿勢が崩れた時に、正しい姿勢を視覚的に提示し、姿勢を整えるように声掛け支援します。					
	認知・行動	◎発達レベルに応じて必要な支援を促すための教科学習 ・宿題と一緒に取り組むことで、学校入学での困り感の軽減。個別プリントを終わらせることで、児童の出来たを「見える化」就学に向かう意欲を促す。 ◎認知の偏りが問題行動につながらないように予防・適切な行動への対応の支援 ・専門的支援の中で、児童との個別のコミュニケーションに重きをおいて、子ども園・友達・習い事での情報を得て、他機関に情報を共有して、問題行動の意味・理由を考察し、コミュニケーションの中で児童が気づき行動を変えられるようにサポート・声掛けし支援している。					
	言語コミュニケーション	本人に合わせた言語・コミュニケーションスキルの支援 読み書きに苦手意識を抱えた児童への支援 ・専門的支援(児童指導員・心理士)によるコミュニケーションを毎時間設けている。1、「自分の気持ちを話す。」2、「いいことや嫌なことを支援員に伝えることができる。」3、「いいことや嫌なことを保護者に伝えることができる」とステップアップできるよう児童の言葉や話を補いながら、支援していく。 ・読み書きに苦手意識を抱えた児童は多数利用している→学校との課題の調整での支援。環境(静か・個別)に配慮。個別のプリント 課題の調整(なぞり・支援道具)を用意し、使用する。(負担軽減)PCの利用している。(入力出来る)					
	人間関係社会性	◎お友達との関係や集団参加 社会性の向上を支援する。 ・児童同士の遊びでの支援。入れてもらい方・ルールへの徹底・負けても参加できるを支援。 ・遊びの時間を提供・支援					
家族支援	送迎時や定期面談を実施。宿題から始まるけんかによる精神的負担の軽減。成長につれて、保護者と児童の関係悪化を軽減。保護者・児童・サボ・ゼミでの学校・子ども園でのストレスを受け止められるような関係を目指している。学校や子ども園と情報を共有を図っている。また、保護者と電話相談を実施。月一度学校・子ども園への定期的な訪問を行っている。	移行支援	不登校の児童については、居場所の提供をしている。学校への送迎支援を行う。児相からの緊急案件にも対応。また、進路先の学校への定期訪問・電話による児童の情報共有している。児童にできる合理的な配慮にかなしてアドバイスしている。				
地域支援・地域連携	事業所の近隣のコミュニティカフェ「風車」の行事参加をしている。また、こども食堂の活動を保護者様に周知し、希望者にはお弁当を配布している。	職員の質の向上	ちえりあでの研修の周知・参加を促す。職員2名2024年度2回研修に参加。西区内の研修に参加。虐待防止委員会の設置。避難訓練実施。オンライン研修に参加。				
主な行事等	一人一人に対しての個別支援マニュアルを作成・周知→変化を記録・更新をしている。近隣高齢者施設の年中行事に応援参加【もちつき・RUN伴】を応援。						